Press Release

2022 年 7 月 22 日 株式会社コンカー

株式会社不二越、紙業務のデジタル化を通じた業務効率化の実現に向け 経費管理クラウド「Concur® Expense」を導入

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:三村真宗、以下コンカー)は、株式会社不二越(本社:東京都港区、代表取締役社長:坂本淳、以下不二越)のグループ間接費管理基盤としてSAP® Concur®が採用されたことを発表いたします。

新型コロナウイルスの流行を契機に、全国的にバックオフィス業務の効率化、場所や時間に囚われない働き方が可能な環境づくりに取り組む企業が増えています。

不二越は、経費精算・管理クラウド「Concur Expense」を含む SAP Concur を採用し、2022 年 2 月より従業員約 3,200 名を対象に導入しました。

これまでは間接費に関わる業務フローは紙主体であり、働く場所や時間に制約があり、経費に関わるデータが抽出できないことが大きな課題となっていました。

SAP Concur を導入することで、煩雑な業務フローから脱却し、単純作業のための出社の削減、事務工数を削減し、職種に関わらず全社員がコア業務に集中できる、働きやすい労働環境作りを進められています。

「Concur Expense」を導入することで拠点ごとに異なっていたルールが標準化され、経費の利用状況の可視化が可能になり、業務効率化、ガバナンス強化の両方を実現しています。

<導入製品>

- ・経費精算・管理クラウド「Concur Expense |
- ・領収書 OCR アプリ「Expenselt」
- ・高度な出張管理を可能にする「Concur Request」
- ・経費の流れをレポート化し分析する「Intelligence」
- ・専門オペレーターが利用者からのお問い合わせに対応する「ユーザーサポートデスク」

Concur Expenseの主な導入効果

業務工数の削減



規程チェックの自動化により 入力や確認の工数削減

ペーパーレス



紙での申請は不要 電子帳簿保存法に即した運用で ペーパーレスを推進

分析高度化とガバナンス強化



経費利用状況を一元管理 データを可視化し不正利用を抑制 全社で経費精算ルールを標準化

テレワーク推進



モバイルアプリを活用することで 社外からの申請や承認が可能 経費精算のための出社を抑制

稼働後3か月が経過していますが、利用者はスマホでいつでもどこでも処理ができ、工数や事務負担が軽減され、全拠点滞りなく業務を進めています。

この結果を踏まえ、今後は、令和 5 年 10 月開始のインボイス制度への対応や、電子帳簿保存法の税制改正における『出力措置による代替措置の廃止』への対応を見据え、Concur Invoice の導入も検討しており、デジタル化を通じた更なる業務効率化を推進します。

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010年 10月に設立されました。

『Concur Expense (経費精算・経費管理)』・『Concur Travel (出張管理)』・『Concur Invoice (請求書管理)』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP Concur について

SAP Concur は、出張、経費、請求書管理を統合したソリューションを提供する世界有数のブランドであり、これらのプロセスの簡素化と自動化を追求しています。高い評価を得ている SAP Concur のモバイルアプリは、社員の出張をサポートし、経費を自動で入力し、請求書の承認を自動化します。AI を使いリアルタイムのデータを統合、分析することで、効率的な支出管理を行うことが可能です。SAP Concur のソリューションは、手間の掛かる作業をなくし、お客様の業務効率化に貢献、最高の状態でビジネスを進めることができるようサポートします。詳細は concur.com または SAP Concur ブログをご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。